

本編

第5期 瀬谷区地域福祉保健計画

# 暮らしやすい まちづくりの計画

素案

計画期間：令和8～12年度

瀬谷区

## C O N T E N T S [ 目 次 ]

### 1 地域福祉保健計画について ..... P.1

- (1) 地域福祉保健計画とは
- (2) 瀬谷区地域福祉保健計画とは
- (3) 計画の位置づけ

### 2 第5期瀬谷区地域福祉保健計画 ..... P.3

- (1) 瀬谷区地域福祉保健計画 全体像
- (2) 基本理念
- (3) 副題(サブタイトル)

### 3 基本目標 ..... P.5

基本目標 I “おたがいさま”で支え合うまち

基本目標 II 健康でいきいきと暮らせるまち

基本目標 III 誰もが活躍できるまち

### 4 (基本目標を実現するための) 6つの取組・全体計画 P.6

- ① 身近な見守り・支え合い・助け合いのつながりづくり
- ② 一人ひとりに応じた健康づくり
- ③ 健やかにこどもが育つ風土づくり
- ④ 様々な人と人との交流の広がりづくり
- ⑤ それぞれの力を生かすネットワークづくり
- ⑥ 必要な情報や支援が届く仕組みづくり

### 5 策定のプロセス ..... P.19

「地区別計画」は、令和8年3月完成予定の完成版に掲載いたします。

また、コラムは、「GREEN×EXPO 2027」「障害者の活躍」

「子育て支援の取組」等について掲載予定です。

# 1 地域福祉保健計画について

## (1) 地域福祉保健計画とは

地域福祉保健計画は、「地域に暮らす誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせるように、区民・団体・事業者・行政の役割と協働・連携をし、支え合うしくみをつくる」ことを目的とし、地域住民と関係機関・団体等で策定・推進します。

この計画は、社会福祉法(第107条)で地域福祉の推進に関する事項を定める計画として位置づけられています。計画を策定することで、地域ごとの現状と課題を明らかにし、より良いまちづくりに向けた目標を共有し、同じ方向を見据えて、地域住民と関係機関・団体等それぞれの役割に応じた取組を進めしていくことができます。

「住民主体」と「協働」を大切にし、地域に暮らす一人ひとりが「私たちのまち」に関心を持ち、地域福祉保健の推進に取り組んでいくことが重要です。

また、区社会福祉協議会が推進してきた「地域福祉活動計画」は、地域福祉保健計画と同じ目的をもつため、一体的に策定・推進しています。

## (2) 瀬谷区地域福祉保健計画とは

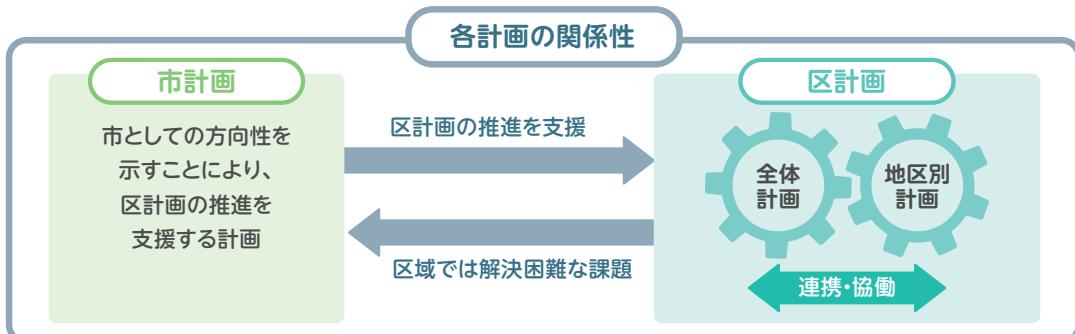
【計画の対象者】瀬谷区で生活している「すべての人」を対象とします。

【計画の期間】 第5期瀬谷区地域福祉保健計画：令和8年度～12年度

※この計画は、平成18年度から始まり、5年ごとに策定・推進しています。

## (3) 計画の位置づけ

横浜市においては、「市計画」と18区ごとの「区計画」があります。そして瀬谷区の「区計画」は、「全体計画」と12地区エリアごとの「地区別計画」を策定しています。全体計画、地区別計画を策定することで、特性に応じた取組を進めることができます。



「全体計画」… 区全体に共通する課題に対する取組や地区での取組をよりスムーズに進めるための地区別計画を支える計画

「地区別計画」… 地区の特性や資源を生かしながら、地区的課題や区の課題を解決するための計画

## 【他分野との関係性】

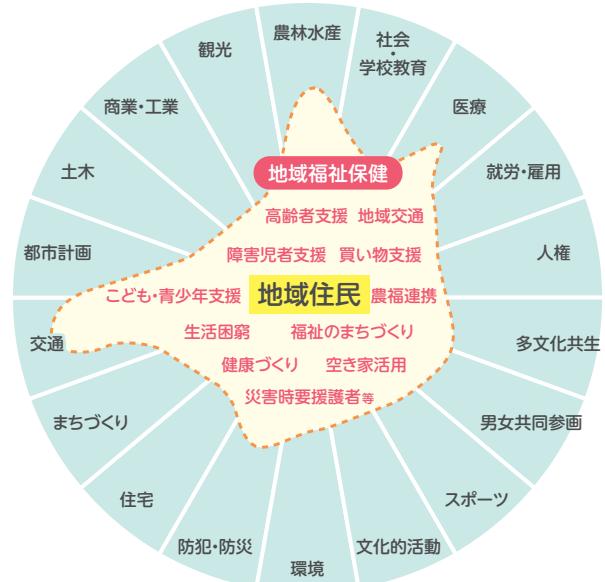
地域の課題は、交通や防犯、医療など様々ですが、視点を変えることで地域福祉保健として考えることができます。複数の視点を持って取り組むことで、より暮らしやすいまちづくりにつながります。

地域の課題や特徴は様々なため、以下のA・B地区のように、優先順位や目標がそれぞれ異なります。

### A地区

#### 〈駅から離れており、農業の盛んな地区〉

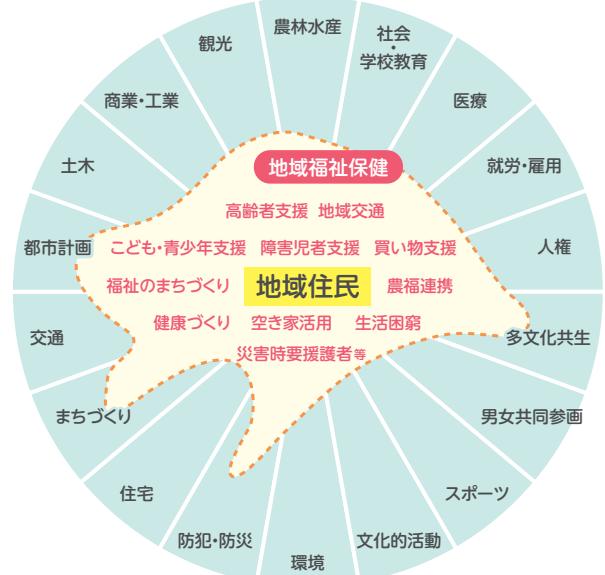
- バスの減便による「交通」の課題から「高齢者が買い物に行けない」という問題に対し、店舗の協力による移動販売を検討しています。
- 障害者の事業所も多いため、「農林水産」の分野では、障害者等が農業の体験を通じ、地域とのつながりや自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組を進めています。



### B地区

#### 〈戸建ての住宅が多く、外国にルーツのある人も多い地区〉

- 空き家の発生による「防犯・防火」や「都市計画・まちづくり」の課題を、放課後の学習支援の場としての地域福祉保健活動の拠点として再利用できないか検討しています。
- 「やさしい日本語」を使った生活情報やイベント等の周知により、更なる交流の広がりや活躍を推進し、地域のルールについても理解促進を図ることで、暮らしやすいまちづくりに寄与しています。



※出典を一部改変して掲載(出典:第5期 横浜市地域福祉保健計画)

## 2 第5期瀬谷区地域福祉保健計画

### (1) 瀬谷区地域福祉保健計画 全体像

基本理念のもとに6つの取組を進めることで、みんなで基本目標に掲げる3つのまちをつくっていくことを表しています。

#### 基本理念 みんなでつくる みんなのしあわせ

##### 基本目標I

“おたがいさま”で  
支え合うまち

##### 基本目標II

健康\*でいきいきと  
暮らせるまち

##### 基本目標III

誰もが  
活躍できるまち

\*健康とは…年齢や病気、障害の有無ではなく、心の充実や社会とのつながりを含めた幸福感や満足感のことを指します。

#### (基本目標を実現するための)6つの取組

1

身近な見守り・支え合い・  
助け合いのつながりづくり

2

一人ひとりに応じた  
健康づくり

3

健やかにこどもが育つ  
風土づくり

4

様々な人と人との  
交流の広がりづくり

5

それぞれの力を生かす  
ネットワークづくり

6

必要な情報や支援が届く  
仕組みづくり

この6つの取組はP21以降の皆さまのご意見を基に作成しました。



## (2) 基本理念

### 「みんなでつくる みんなのしあわせ」

瀬谷区では、第1期から以下の3つの考え方を念頭に「みんなでつくる みんなのしあわせ」を基本理念と定めて取り組んでいます。

- 一人ひとりの個性や人間性を大切にします。
- 一人ひとりが互いに思いやり、地域のきずなを大切にします。
- 人と人とのあたたかい関係を大切にします。

## (3) 副題〈サブタイトル〉

### 「暮らしやすいまちづくりの計画」

瀬谷区では地域福祉保健計画という一見すると難しい印象の計画を分かりやすい言葉で表現できるように、副題(サブタイトル)をつけています。第3期瀬谷区地域福祉保健計画の策定時に、区民の皆さんのご意見を聞きながら、策定懇談会で話し合いを重ね決定しました。

コラムを掲載予定

# 3 基本目標

## 基本目標Ⅰ “おたがいさま”で支え合うまち

誰もが孤立せずに、安心して自分らしく暮らしていくことができるよう、

- 日々の生活の中でさりげなく気にかけあえる「顔の見える関係」
- 困っている人がいたら声をかけ、時には自分も助けてもらい、支える側、支えられる側が固定されない、「ゆるやかな関係」
- 地域住民だけでなく、行政や関係機関・団体などが連携して瀬谷区全体で「支ええる関係」

を大切にするまちを目指しましょう。

私たちの住んでいるまちには生活困窮、いわゆる8050問題、ヤングケアラー、ダブルケアなど、様々な困りごとを抱えた人がいます。また、年齢、けがや病気、出産や育児などにより、誰もが支援を必要とする状況になり得ます。一人ひとりが、まちの状況や課題に気づき、相手の立場になって理解しようとすることが大切です。

## 基本目標Ⅱ 健康\*でいきいきと暮らせるまち

コロナ禍の影響により、身近な地域での健康づくりの活動が減少し、身体の健康状態の低下だけでなく、社会的な孤立による心の健康状態の低下も懸念されました。

地域との交流や様々な活動への参加などの「つながり」が心身の健康に効果があると言われています。一人ひとりが「つながり」をつくることで個人の健康が保たれるとともに、健康で暮らしやすい地域になり、住んでいる人全体にも良い影響があります。

こどもの頃から様々な世代の人と交流し、人とつながり、誰もが自分らしくいきいきと過ごせるまちを目指しましょう。

\*健康とは：年齢や病気、障害の有無によるものではなく、心の充実や社会とのつながりを含めた幸福感や満足感のことを指します。

## 基本目標Ⅲ 誰もが活躍できるまち

第4期計画までの取組を通して、地域で活躍する人や場が広がっていますが、地域活動の担い手不足や多様化する地域課題に向き合うために、更に裾野を広げていく必要があります。デジタル技術の活用等、時代や環境に即した活動に変化していくことも大切です。

様々な形で身近な地域で年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず誰もが(=多様な主体が)参加するだけでなく、得意なことやできることを生かして活躍することのできるまちを目指しましょう。

# 4 (基本目標を実現するための)6つの取組・全体計画

全体計画は、区民、関係機関・活動団体・各種施設等<sup>\*</sup>、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ の5者が中心となって取り組む計画です。次のページからは、6つの取組に分けて代表的な全体計画を掲載しています。

\*「関係機関・活動団体・各種施設等」については、地区社会福祉協議会、連合町内会、民生委員・主任児童委員、ボランティア団体、保健活動推進員、企業、医療機関、子育て支援団体、障害者当事者団体、外国人支援団体、社会福祉施設等のことを持します。

## 全体計画について

掲載されている全体計画は、一つの取組だけでなく、他の取組にも関連しています。内容の末尾の記載されている下記のマークは他の取組への関係性を示しています。



1 身近な見守り・支え合い・  
助け合いのつながりづくり



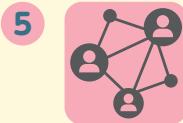
2 一人ひとりに応じた  
健康づくり



3 健やかにこどもが育つ  
風土づくり



4 様々な人と人との  
交流の広がりづくり



5 それぞれの力を生かす  
ネットワークづくり



6 必要な情報や支援が届く  
仕組みづくり

3

4

(基本目標を実現するための) 6つの取組・全体計画

# 1 身近な見守り・支え合い・助け合いのつながりづくり



日頃から挨拶や声かけをすることで、助け合いや困ったときの支え合いの関係ができ、「安全・安心で暮らしやすいまち」になります。たとえ、ゆるく小さなつながりや取組でも、地域でのつながりは日常的な安心を生みます。また、災害時の安心にもつながります。

## ごみの集積場所にて



おはようございます。



おはようございます。

後日



最近、Aさんをごみ捨ての時に見かけないから、心配なんです。



ちょっと訪問してみますね。



瀬谷区マスコットキャラクター  
せやまる

「あいさつする」というちょっとしたことが日々の暮らしの安心安全につながるね!

4

(基本目標を実現するための) 6つの取組・全体計画

## 全体計画

区民の皆さん、  
一人ひとりが  
意識したいこと

自分の住んでいるまちで、“顔の見える関係”をつくりましょう。

関係機関・活動団体・  
各種施設等が  
意識したいこと

「顔の見える関係づくり」を進め、  
ゆるやかなつながりづくりを広めていきましょう。

〈マーク説明〉



一人ひとりに応じた  
健康づくり



健やかにこどもが育つ  
風土づくり



様々な人と人との  
交流の広がりづくり



それぞれの力を生かす  
ネットワークづくり



必要な情報や支援が届く  
仕組みづくり

## 区役所

- 地域での助け合いの強化を図り、いざという時に共に助け合いが行えるようにします。



- 民生委員・児童委員及び主任児童委員と連携し地域ぐるみでの見守り体制を強化するとともに、活動しやすい環境づくりを進めます。



- 安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、関係団体と連携しながら様々な事業を展開し区民の防犯・交通安全意識の向上を図ります。



- 日頃からの地域での声かけや、将来の住まいについて考えることを促すことにより、地域の安全を保ちます。



- すべての区民がごみのことで困らない住みよいまちの実現に向けた取組を進めます。



## 区社会福祉協議会

- 地区社会福祉協議会と共に「ネットワーク組織」という特徴を生かした身近な地域での支え合い活動を進めます。



- ボランティアコーディネートを通じて、おたがいさまの関係づくりを進めます。



- 身近な場所の地域活動を支えるために、各種助成金を配分します。



## 地域ケアプラザ

- 認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域全体へ幅広く認知症の理解者を増やしていくことを目指し、積極的に普及啓発を行います。



- 医療・介護の専門職と地域の方とともにつながりづくりのための活動継続と支え合いの地域づくりを進めます。



- 支える側、支えられる側と区別することなく、支えられる側にも出来ることを見つけ、地域活動や日々の暮らしに生かし、生きがいが持てるように支援します。



- 介護の悩みが解決できるよう、介護技術の取得や介護相談が出来る場として「介護者のつどい」を拡充強化します。



## 2 一人ひとりに応じた健康づくり



自分の心身の健康に関心を持ち、健診等を受け、自分の状態等に応じた健康づくりをしていくことが大切です。健康への意識を高めることが、身近なところで行う心と体の健康づくりや介護予防に関する取組につながります。

### ラジオ体操@公園にて



Bさんも誘ったけど、ラジオ体操みたいな全身運動は足が悪いからって断られちゃった。



この前、地域ケアプラザで座ってできる体操をやってたよ。  
ラジオ体操でも座ってやってみようよ。

後日、ラジオ体操の日



Bさん

初めて参加したけど、無理なく体操できるし、みんなと話せて楽しかった。



いろいろな人と交流すると、  
体だけでなく心の健康にもつながるんですって!



定期的な健診や予防接種とともに  
こうした、みんなで自分に合った健康づくりもできる  
地域になるといいね!

### 全体計画

区民の皆さん、  
一人ひとりが  
意識したいこと

自分の心身の状態を把握しましょう。  
また、自分では把握しにくい人のことを気にかけましょう。

関係機関・活動団体・  
各種施設等が  
意識したいこと

健康に関心が持てる活動を推進していきましょう。  
更に、健康づくりや疾病等に対する予防的な取組を増やしていきましょう。

（マーク説明）



様々な人と人との  
交流の広がりづくり



身近な見守り・支え合い・  
助け合いのつながりづくり



それぞれの力を生かす  
ネットワークづくり



健やかにこどもが育つ  
風土づくり



必要な情報や支援が届く  
仕組みづくり

## 区役所

- 健診等生活習慣を改善する機会を提供することで、自身の健康に関心を持ち、健康づくりの意識を高め、セルフケア(自己管理)ができるよう働きかけます。



- 感染症に関する正しい知識や適切な対応を学び、平時からの感染症対策の重要性を理解し、実践力を高めることができるよう働きかけます。



- 区民一人ひとりが消費者として食中毒予防に関する基礎的な知識を持ち、安全な食生活を送れるよう支援します。



- 健康寿命の延伸を目指し、健康づくり・介護予防・フレイル予防の取組を進めます。地域のつながりを強めながら、安心して健康な生活を送ることができるよう地域づくりを推進します。



- 公園を使いやすいうように維持するとともに、公園利用者へ健康遊具の活用について積極的な紹介を行い、健康づくりの取組を支援します。



## 区社会福祉協議会

- ボランティア活動を通じて、地域活動へ参加することで、心の健康(メンタルヘルス)の充実を図るとともに、地域活動への関心を高めていけるよう働きかけます。



- 福祉施設で働く職員や地域活動者に向けて、メンタルヘルス等の研修会を開催し、心の健康の充実を図ることで、職員や活動者を支援します。

## 地域ケアプラザ

- 健康でいきいきと暮らせるように健康づくりや体力づくりの講座を開催します。また、「元気づくりステーション」の支援や健康づくり・フレイル予防について普及啓発を行います。



- 医療機関との協力のもと健康づくりに関心のある区民と連携・協働しながら介護予防・健康づくり活動の取組(場づくり)を進めます。



- ケアプラザまで出向く事が難しい住民を対象に地元の町内会館や福祉施設等の協力を得ながら介護予防講座等を実施します。



### 3 健やかに子どもが育つ風土づくり



子育て環境や子育て世代の考え方の変化を理解しながら、保護者や地域に見守られ、こどもらしく遊び、学び、成長していくまちにすることが大切です。こども自身も、参加するだけでなく地域の中で主体的に関わることで、達成感や自己肯定感を高めることができます。大人も意識して働きかけることが、地域でこどもが育つ風土(まちに根付いた考え方や意識)づくりになります。

また、こどもの将来や安全について瀬谷区全体で一丸となって考えていく必要があります。

#### 学習支援の場にて



小学生

お兄ちゃん、ここ教えて!



中学生

いいよ。



教えてくれてありがとう。助かったわ!  
今度地域のイベントをやるんだけど、  
たくさん参加してくれるアイデアないかな?



わかった、考えてみるね。  
となりのおじさんがイベントのボランティア  
少ないって言ってたし、お手伝いもするよ!



こどもも地域の一員だよ!  
色々なことに参加・活躍することで  
地域がもっと賑やかで活気が出てくるんじゃないかな。

#### 全体計画

区民の皆さん、  
一人ひとりが  
意識したいこと

- こどもたちが、様々な体験をできるようにしましょう。
- こどもたちは、地域で自分のできることについて考えましょう。

関係機関・活動団体・  
各種施設等が  
意識したいこと

こどもにとって楽しい機会を作り、  
こどもたちも活躍できるよう意識して活動ていきましょう。

〈マーク説明〉



様々な人と人との  
交流の広がりづくり



身近な見守り・支え合い・  
助け合いのつながりづくり



それぞれの力を生かす  
ネットワークづくり



一人ひとりに応じた  
健康づくり



必要な情報や支援が届く  
仕組みづくり

## 区役所

- 妊娠期からの切れ目ない支援により、  
地域で安心して子育てができる環境をつくります。



- 予期しない妊娠をしない、させないための包括的性教育を推進します。



- 健診や予防接種等を通じ、医療機関と連携して  
子どもの健やかな育ちを支援します。



- こどもや、ベビーカーが安全に通行できる道路を整備していきます。

- 学校や地域での幅広い年齢層の方々との交流活動を通して、  
子どもたちが地域で豊かに成長することを支援します。

- こどもたちの学びを支える様々な方々と連携し、  
地域で行うこどもたちの学習をサポートするための活動を支援します。

## 区社会福祉協議会

- こどもの居場所づくりを行っている団体のネットワークの充実を図ります。



## 地域ケアプラザ

- 地域で子育てをする保護者が、子育て中の不安や悩みを相談でき、  
仲間づくりができる子育てサロン・サークルなどを紹介し、サポートを行います。  
また支援者間で話し合い、それぞれの強みを活かした支援をします。



- 見守りを通じて、地域ケアプラザが  
子育て世代の相談窓口であることを周知していきます。



- 地域の子育て支援団体・学習支援・こども支援団体と連携し、  
子どもの居場所づくりを進めます。

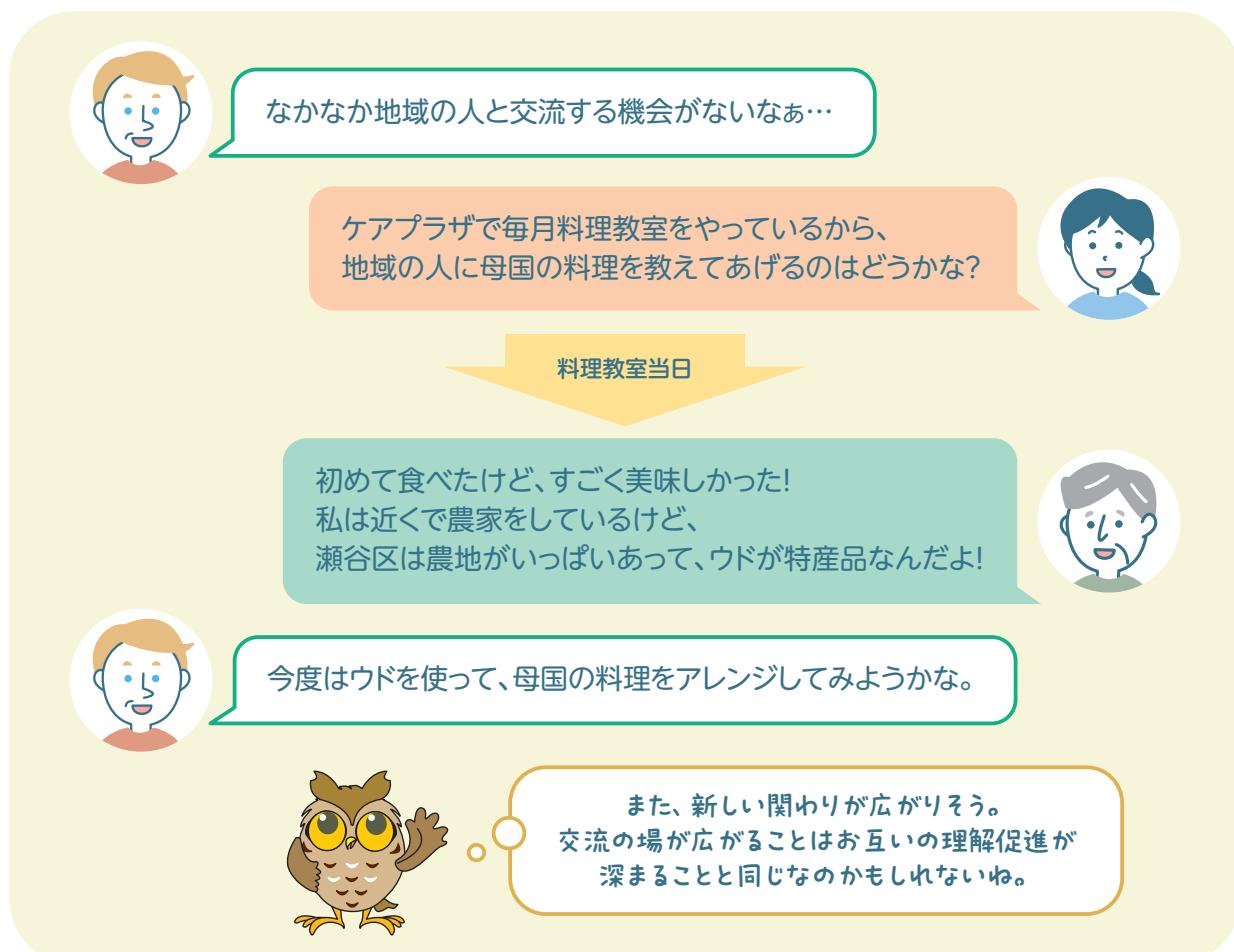


## 4 様々な人ととの交流の広がりづくり



誰もが自分らしく暮らしていくために、関わりを広げながら、お互いに知り・認め合うことが大切です。こどもや障害者、高齢者、外国にルーツのある方との交流など、世代や文化を超えたより広い交流の場を作りましょう。

また、誰もが得意なことやできることを生かして活躍できるまちを目指します。



### 全体計画

区民の皆さん、  
一人ひとりが  
意識したいこと

住んでいるまちのイベント等に参加しましょう。

関係機関・活動団体・  
各種施設等が  
意識したいこと

気軽に集まれる場所を提供しましょう。

〈マーク説明〉



身近な見守り・支え合い・  
助け合いのつながりづくり



健やかにこどもが育つ  
風土づくり



それぞれの力を生かす  
ネットワークづくり



一人ひとりに応じた  
健康づくり



必要な情報や支援が届く  
仕組みづくり

## 区役所

- 様々な場面での交流の機会を通じ、  
障害理解のある地域づくりを目指します。



- 住みよい地域社会を形成するために、  
住民相互の親睦を図り、様々な課題を解決することを目的に  
自主的に組織された自治会町内会の活動を支援します。



- 多様な主体による活動拠点等の充実を図ります。  
また、高齢者が生きがいや役割を持ち、  
自分らしく暮らし続けられるよう、  
様々な居場所や役割を得られる地域づくりを進めます。



- あらゆる世代のスポーツを通じて、  
こどもたちの体力向上、区民の健康維持や地域交流等、  
いきいきとした暮らしを推進します。



## 区社会福祉協議会

- 福祉教育を通じて、地域には様々な人が暮らしている、  
ということに気づく力を高めます。



- ガイドボランティアの育成・発掘をすることで、  
障害への理解を深め、おたがいさまの地域づくりを進めます。



## 地域ケアプラザ

- 障害や認知症等の有無に関わらず、  
その人が活躍できるよう、地域との交流を促進します。  
認知症カフェの運営支援を行い、多くの交流の場に繋げられるよう支援します。



- 外国にルーツのある方へ分かりやすい日本語での広報や周知を行い、  
地域の防災訓練などへの参加を通じて、  
地域活動に参加しやすいきっかけづくりを行います。



- 人種や性別、国籍や価値観などが異なっても共生していくよう、  
その方の状況に応じた相談支援や情報提供などを行います。



## 5 それぞれの力を生かすネットワークづくり



行政だけでなく、住民や企業・関係機関(団体)の連携・協働が欠かせない状況となっています。これまでの計画を通して、それぞれのつながりが増えました。地域のニーズや課題が複雑化した中で、互いを理解し強みを生かしながらネットワークを強化していくことが、地域で安心して暮らすことにつながります。

### お祭りの準備の打合せにて



私たちς飾りつけをやります!



うちの会社の太鼓を貸しますよ。



私は受付するわ。



話し合いの中で  
高齢者の移動手段で困っていることが話題になったな…  
知り合いの会社の車を送迎で利用できないか聞いてみよう。



ネットワークができることで地域の課題解決だけじゃなく、  
地域の良いところを更に伸ばすことにも役立っているね!

4

(基本目標を実現するための) 6つの取組・全体計画

### 全体計画

区民の皆さん、  
一人ひとりが  
意識したいこと

住んでいるまちのイベント等に継続的に参加し、  
つながりを増やしましょう。

関係機関・活動団体・  
各種施設等が  
意識したいこと

地域住民のニーズを共有し、ネットワークや取組につなげましょう。  
また、関係機関・団体・施設同士および地域とのつながりを強めていきましょう。

〈マーク説明〉



身近な見守り・支え合い・  
助け合いのつながりづくり



一人ひとりに応じた  
健康づくり



健やかにこどもが育つ  
風土づくり



様々な人と人との  
交流の広がりづくり



必要な情報や支援が届く  
仕組みづくり

## 区役所

- 在宅医療に向けたネットワークの構築や、医療・介護関係者間の連携を進めます。  
また、在宅医療に向けた支援体制の構築や区民に向けた在宅医療の普及啓発を進めます。



- 障害者地域自立支援協議会の運営を通して、関係機関のネットワークづくりや地域との連携を進めます。



- GREEN×EXPO 2027の開催地を含む旧上瀬谷通信施設地区をはじめとするまちづくりを区民、事業者等と協働で進め、暮らしやすいまちの実現を目指します。



- 地区支援に対する意識啓発を図るとともに、地区支援チームを通じて、各々が収集した地域の活動状況や課題等の情報を関係者で共有し、解決につながるよう伴走支援します。



## 区社会福祉協議会

- 施設や企業が専門性や機能を発揮できるよう、地域とのネットワークづくりを進めます。

- 権利擁護事業の相談を通して、必要に応じて区役所・地域ケアプラザと連携し、成年後見制度等の利用促進に向けた取組につなげます。



## 地域ケアプラザ

- 虐待の防止や早期発見のため、区役所や関係機関、地域住民とネットワークを構築し、連携を図ります。



- 高齢者、こども、障害児・者、生活困窮者等、広く本人やその家族等の相談を受け止めます。



- 個別や地域ニーズに応じて、協力可能な福祉施設や民間企業等のコーディネートやケアプラザの自主事業での協働に取り組みます。



## 6 必要な情報や支援が届く仕組みづくり



必要な人に必要な情報が届き、そこから相談につながることや、困りごとを抱えている人が声を上げられ、必要な支援が届くようにしていくことが大切です。

ICTの活用等により、情報の発信も多様化し、より多くの情報が届くようになりましたが、発信する側も正しい情報を届け、受け取る側も正しい情報を選択する必要があります。

サロンや趣味の活動など身近な集まりの中で、情報を共有・交換することも大切な仕組みの一つです。

### 地域ケアプラザにて



ごみの分別が難しくてね…



スマホやパソコンで簡単に調べられるから、今、教えますよ。

地域ケアプラザ職員



ありがとう! そういえば近所の人がスマホで消費者被害にあったらしいよ。



今度、消費者被害を防ぐ講座があるので、申し込まれますか?



一度つながることで、そこから更に色々な情報・支援が届くね。まずは伝えたい人に正しい情報が届くように心掛けよう。

### 全体計画

区民の皆さん、一人ひとりが意識したいこと

困った時に、相談できる人・相談できる場所を、住んでいるまちに持ちましょう。

関係機関・活動団体・各種施設等が意識したいこと

伝えたい相手の立場に立った情報発信や支援方法を工夫ていきましょう。

〈マーク説明〉



健やかに子どもが育つ風土づくり



身近な見守り・支え合い・助け合いのつながりづくり



様々な人と人との交流の広がりづくり



一人ひとりに応じた健康づくり



それぞれの力を生かすネットワークづくり

## 区役所

- 認知症の状態に応じた医療・介護等の提供や  
効果的な連携ができる支援体制の構築とともに、認知症高齢者が役割を持つことや、  
ゆるやかな見守り体制のある安心して暮らせる地域を目指します。  
また、権利擁護が必要な人へ関係機関等と連携した支援を進めます。
- 自殺対策啓発講演会、ゲートキーパー養成研修を開催し、  
地域における支援体制を強化します。
- 経済的困窮を始め様々な課題を抱える方々が安心して生活できるよう、  
その人なりの自立を目指した支援を行います。
- 地域行事や地域食堂など、飲食物の提供を伴う地域の活動について、  
必要な衛生管理上の情報を提供し、安全に行事や食事を楽しめるよう支援します。
- 地域での課題解決に向け、課題に応じた講義や事例の提供、  
話し合いが深まるきっかけづくり等を支援します。



## 区社会福祉協議会

- 必要な人に支援が届くよう、広報紙やホームページ等の活用により情報を発信します。
- 困りごとを抱えている人を必要な支援につなげるため、  
食支援の仕組みづくりを進めます。
- 要援護者世帯が、経済的な自立と  
安定した生活を営むことができるよう、関係機関と連携し支援します。
- 地域活動への参加のきっかけとして、寄付の使いみちやかたちを周知・広報することで、  
寄付文化の醸成を図ります。

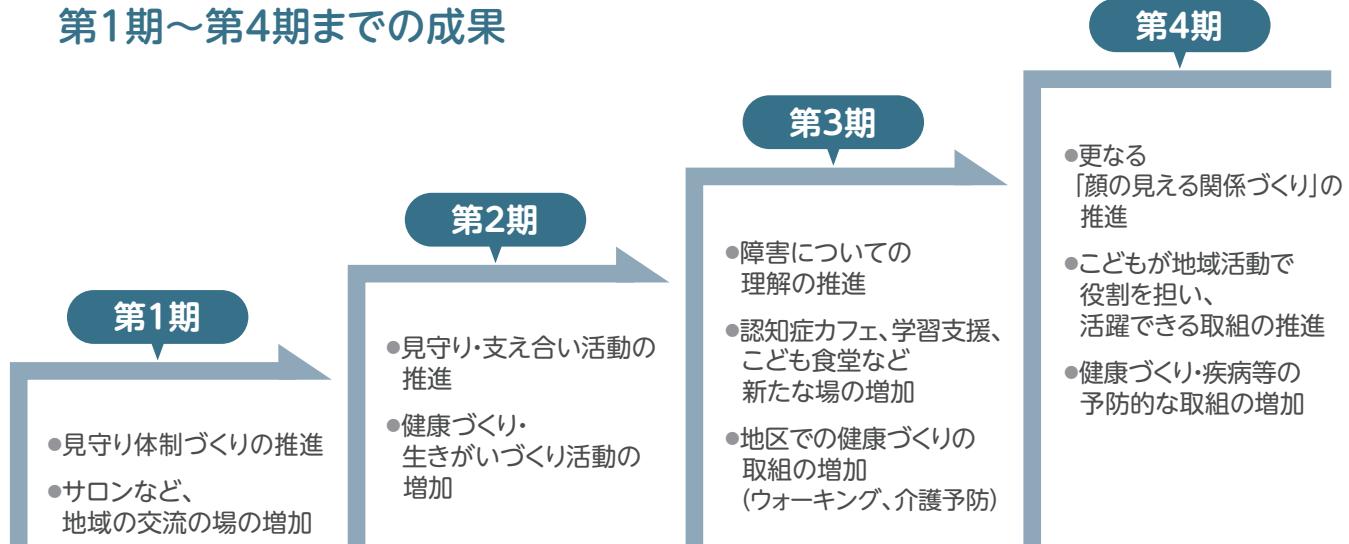


## 地域ケアプラザ

- 「よこはまウォーキングポイント」「よこはま健康スタンプラリー」の  
広報や啓発を行い、区民の健康増進を支援します。
- ケアプラザ内にWi-Fiを設置し、  
地域福祉団体や高齢者でもICTを活用していただきながら  
活動の幅を広げていただけるように支援します。
- 幅広い世代のボランティアの発掘・育成に取り組み、  
それぞれが各々の特技(得意とすること)を活かせる場づくりを推進します。



# 5 策定のプロセス



## 【これまでの計画全体での主な成果】

- サロンなど様々な地域交流の場が増加
- 健康づくり・生きがいづくりの活動も増加
- 見守り、支え合い活動も大きく前進
- 障害者やこども等、様々な主体の活躍の場所が拡大
- 区民、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザとの連携強化

## 第4期の振り返りと課題

- コロナ禍でも、様々な工夫をして地域活動を続けてきた。地域で活躍している人が多く、コロナだからできないのではなく、どうしたらできるかを考えた。ピンチに強い底力を感じた。
- イベントの運営方法が見直された。  
ボッチャ等のインクルーシブスポーツ<sup>\*</sup>が広がり、誰でも参加しやすいものに変わってきた。  
※年齢、性別、国籍、障害の有無を問わず、だれでも楽しめるスポーツ
- 施設も地域の一つ。行事を行う際も施設の方だから難しいと考えず、主催者側も施設側も一緒に考えることで、実際に参加して楽しんでもらうことができた。
- 日頃からの「顔の見える関係づくり」は、多方面へのつながりが必要だが、特に若い人は、地域に溶け込もうとしている人が少ないことが課題。
- こどもたちがお祭り等のイベントを企画するといった経験を重ねると地域に愛着がわき、自分たちで何かやろうと自然と地域に関心をもってもらえると思うので、こどもが主催となったり、意見を発表できる機会があると良かった。
- こどもの居場所づくりができてきているが、通っているこどもがどのくらい成長しているかが見えにくく、今後どのように発展させていくのかを考えしていく必要がある。
- 健康への関心度は高まり、予防的な取組も増えているが、興味・関心がない人、医療機関に来ない人にどう伝えていくかが課題。

## 策定までの流れ

第5期計画の策定にあたっては地域住民をはじめとして、様々な関係機関・団体の方にご協力いただき、ご意見をいただきながら進め、瀬谷区の福祉・保健や地域活動団体の代表をメンバーとした策定懇談会で話し合いながら策定してきました。



## アンケートやヒアリング、策定懇談会、区民意見募集でのご意見

### ① アンケート

- 小学校、中学校、高等特別支援学校：回答数 計212人
- 瀬谷区5地域ケアプラザ、老人福祉センター利用者の高齢者：回答数 計120人

### ② ヒアリング

- 障害者団体：回答数 計56人
- 事業所・企業：回答数 計22団体

### ③ 推進懇談会

令和4～6年度 年2回開催

### ④ 区民意見募集(令和7年7月実施予定)

参考にした意見の属性の省略

こども	小学生・中学生・高等特別支援学校アンケート
推進委員	地域福祉保健計画推進委員
高齢者	高齢者アンケート
障害者	障害者支援・当事者団体ヒアリング
地区社協	地区社会福祉協議会ヒアリング
ボランティア	ボランティア団体分科会ヒアリング
施 設	社会福祉施設ヒアリング
区 民	瀬谷区区民意識調査(令和5年度)
外国人	瀬谷区外国人意識調査(令和5年度)
区役所	区役所
区社協	区社会福祉協議会
ケアプラ	地域ケアプラザ
企 業	企業

## 取組 1

属性	ヒアリングやアンケート、推進懇談会等でのご意見から	キーワード・方向性
こども	近所の人とあいさつや声かけができるまち	近所の人と あいさつや声かけ
高齢者	声をかけ合えるまち	声をかけ合える
こども	人との関わりが増えれば、助けを気軽に求め安心できる。 また、話す人が増えて楽しく過ごせる。	安心
地区社協	地福計画は、見守りから助け合いに発展していくべき。	助け合い
こども	地震や台風の備えができているまち	災害への備え
区民	防災・減災のための活動に参加したい・興味がある。	防災・減災の活動
ボランティア	発災時に外国人も日本人も関係なく対応できるまち	発災時
推進委員	防災を切り口に「顔の見える関係づくり」を 推進していきたい。	顔の見える関係づくり
推進委員	ゆるくても、つながっていける関係性を作っていくことが、 日常的な安心感を生む。小さなつながりでも、 つながることで何かあった時に助け合える関係になる。	ゆるいつながり 小さなつながり
推進委員	買い物の付き添い等ちょっとした困りごとの支援は 近所づきあいで進めないとよい。	近所での支え
地区社協	困っている人に「何か困っていることはない?」と 声をかけられるようなまち	困っている人に 声をかける
高齢者	人と人との関りがあるまち	人の関わり

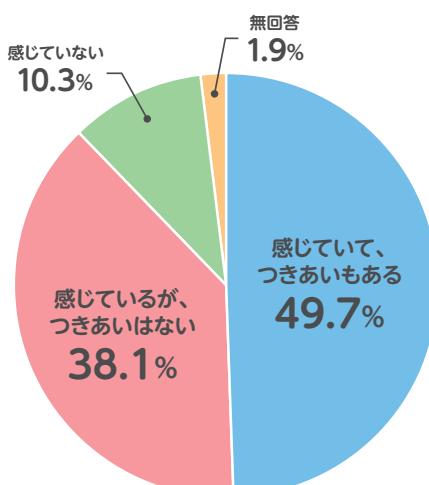


### 身近な見守り・支え合い・助け合いのつながりづくり

Q あなたは隣近所など  
地域の人とのつきあいを  
必要と感じていますか?  
(令和5年度瀬谷区区民意識調査)

「感じていて、つきあいもある」が  
49.7%で、全体の約半数を占める。  
「感じているが、つきあいはない」は 38.1%、  
「感じていない」は 10.3%で全体の1割程度である。

地域の人とのつきあいについて (n=1,284)



## 取組 2

属性	ヒアリングやアンケート、推進懇談会等でのご意見から	キーワード・方向性
推進委員	健康に対する関心度も高まり、予防的な取組も増えている。	健康への予防の取組
推進委員	健康に興味・関心がない人にどう伝えていくかが課題。	健康への関心
区役所	瀬谷区の特徴的な健康課題に対する取組を関係団体と連携して進める。	健康課題
区役所	スポーツにおける、あらゆる世代の健康増進をはかる。	あらゆる世代の健康増進
ケアプラ	住民の健康づくりや体力づくりの意識を高める。	健康に対する意識づくり

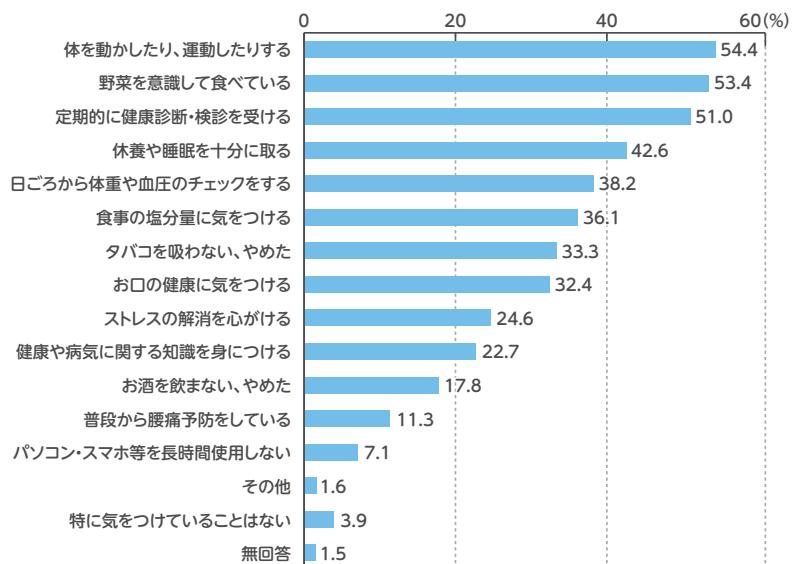


### 一人ひとりに応じた健康づくり

Q あなたはご自身の健康のために  
どのようなことに  
気をつけていますか?  
(20歳以上の方のみ)  
(令和5年度瀬谷区区民意識調査)

「体を動かしたり、運動したりする」  
「野菜を意識して食べている」  
「定期的に健康診断・検診を受ける」は、  
半数以上の人気が行っている。

健康のために気をつけていること(n=1,284)



## 取組 3

属性	ヒアリングやアンケート、推進懇談会等でのご意見から	キーワード・方向性
推進委員	子どもが保護者や地域の人に見守られ、こどもらしく遊び、学び、成長していくける取組を推進していかなければならない。	子どもが地域の人に見守られて育つ
推進委員	子どもの居場所づくりができてきているが、通っている子どもがどのくらい成長しているかが見えにくく、今後どのように発展させていくのかを考えていく必要がある。	子どもの居場所づくり
推進委員	ヤングケアラーや不登校など、学校だけでなく地域でどう取り組むかが重要。瀬谷区全体として対応の方向性を見出していく必要がある。	学校と連携
推進委員	地域の活動やイベントに参加する子どもに役割を持ってもらうことで、達成感や自己肯定感を高めることができる。	子どもに役割を持ってもらい、達成感や自己肯定感を高める
推進委員	子どもの成長の過程で、ゆるく関わりながら親子とも長くつながって行けるのが地域の強み。	切れ目なく、つながる
ボランティア	子どもが住みやすい、こどもを育てやすいまち	子育てしやすいまち
高齢者	子育てしやすいまち=高齢者がいきいきと暮らせるまち 社会全体でこどもを育てるまち 安心して子育てできるまち	社会全体でこどもを育てるまち
区役所	子育て応援イベントを実施しているが、引き続きSNS等を活用し、子育て世代のニーズに対応していく。	子育て世代のニーズ
ケアプラ	子育てサロンの場等で子育て中の不安や悩みを聞き取り、気持ちに寄り添う支援を行う。 子育て環境の変化や子育て世代の考え方を地域に理解してもらえるようにしていく。	子育て環境の変化 子育て世代の考え方



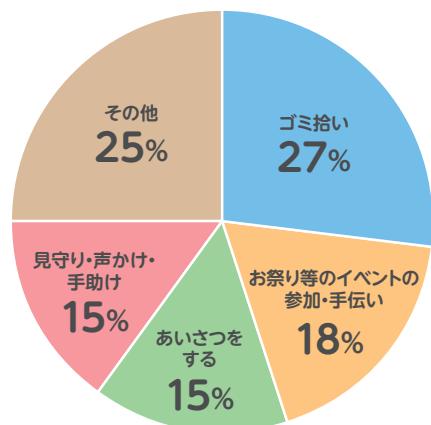
### 健やかにこどもが育つ風土づくり

Q 「安心して住みやすいまち」にするために、どのようなことができそうですか?

(令和6年度瀬谷区内の小・中・特別支援学校アンケート:回答212名)

その他では、「地域の活動にみんなで取り組む」(小学生)、「地域の人とのふれあいをこまめにする」(中学生)、「災害対策・防災訓練をする」(特別支援学校)などのご意見がありました。

自分たちができること



## 取組 4

属性	ヒアリングやアンケート、推進懇談会等でのご意見から	キーワード・方向性
推進委員	障害者を普通に受け入れられる人や環境が少しずつ揃ってきている。障害者も地域の方々と自然に一緒に関わる機会を作りたい。	自然と一緒に 関わる機会
推進委員	どのように障害の方に声かけをすれば良いか、地域も悩んでいる。イベントの企画から一緒に行うことでお互いの理解が進むと考える。	障害の方と一緒に イベントを企画する
推進委員	外国籍の方と知り合うことは大事。地域の中で外国籍の方と知り合えるような行事や相談ができる仕組み等、同じ地域住民という認識を持ち、対応できたら良い。	外国にルーツがある人と 知り合う
推進委員	こどもとの接点を増やすには保護者の理解・協力を得て、地域と保護者がつながりを持つことが大事。 その結果、こどもたちが保護者や地域の大人と一緒に交流でき、様々な人と関われる機会づくり、多世代と交流できる場になっていく。	地域と保護者のつながり 多世代交流
地区社協	現役世代と高齢者が定期的に顔を合わせる機会づくり こどもと高齢者のつながり	こどもや現役世代と 高齢者のつながり
地区社協	どんな人が知る機会がない。	知る機会
地区社協	担い手も、「楽しい」「参加して良かった」と思ってもらう 必要がある。特に若い人に意見を聞くことが重要。 若い人の集まりを作り、そこで色々な意見を出してほしい。	若い人の意見
障害者	障害も一人ひとり違うので、人を知ることに貪欲になる。	相手を知る
外国人	差別や偏見をなくしてほしい。 外国の文化、生活習慣を知ってほしい。	外国の文化や 生活習慣を知る
こども	ユニバーサルデザインを増やして、 こどもから高齢者まで楽しめる施設（居場所）があったら、安心して楽しいまちになる。	居場所
障害者	町内会自治会、子育て、高齢、障害などの分野の枠に とらわれず、誰でもが立ち寄れる小さな居場所が、たくさんあると良い。	誰もが立ち寄れる場
高齢者	高齢者、若者、こども等の様々な年代がお互いに理解されるまち 人種や性別、年齢等に関係なく一人ひとりが大切にされるまち	お互いに理解されるまち 一人ひとりが大切にされるまち 若者
ボランティア	仕事と地域が両立しやすいまちづくり	仕事と地域の両立
こども・高齢者	暮らしやすいまちにするために、 地域のイベントに参加・手伝いをする。	地域のイベントに 参加・手伝い
企業	地域のイベントに参加、もしくは開催したい。	地域のイベントを 開催する



様々な人と人との交流の広がりづくり

## 取組 5

属性	ヒアリングやアンケート、推進懇談会等でのご意見から	キーワード・方向性
推進委員	高齢者施設や薬局には専門職が多くいるので、地域の活動に活用してほしい。	関係機関と地域のつながり
推進委員	障害のある個人が地域とつながるのは難しいので、まずは障害の事業所と地域がつながりを作っていくたい。	福祉施設と地域のつながり
推進委員	医療機関とつながっていない一人暮らしの高齢者が、いざという時にどのように医療につなげるかを心配している。民生委員や地域の人の力を借りたい。	医療機関と地域のつながり
推進委員	子どもに関わる団体や機関、医療関係者との連携が必要。最も大切なことは命を守ることで、医療の専門的視点は必要。学校や主任児童委員等、医師とのつながるルートがあると良い。	学校と医療機関と地域の連携
施設	地域貢献は地域とつながらないと分からぬので、まずは知ることから始める。	地域貢献



それぞれの力を生かすネットワークづくり

コラムを掲載予定

## 取組 6

属性	ヒアリングやアンケート、推進懇談会等でのご意見から	キーワード・方向性
障害者	SOSを発信しやすいまちが不可欠。 いつ何をどこで相談できるか分かると良い。	SOSを発信しやすいまち どこで相談できるか 分かるまち
推進委員	食支援では、食料を渡すだけではなく、 本当に必要な量なのか考えたり、その場で相談できるような 仕組みなど、もう一步進んだ取組が必要ではないか。	相談できる 仕組みづくり
推進委員	小さな団体や小さな取組にも支援していく必要がある。	小さな団体や 小さな取組
推進委員	子育て中の保護者は、共働きの人も多く、地域の人と交流する 機会が少ない。地域にある多くの情報を一元化する等、情報を 把握しやすくすることで地域に入りやすくなるのではないか。	情報把握のしやすさ
ケアプラ	講座等に参加できない人にも情報が届くよう、 ホームページやSNSを活用し周知する。	情報発信
区社協	ホームページやFacebook、X(旧Twitter)等を 活用し、若い世代への情報発信に取り組む。 また、福祉保健の情報が広く周知されるよう進める。	ICTの活用 若い世代への情報発信

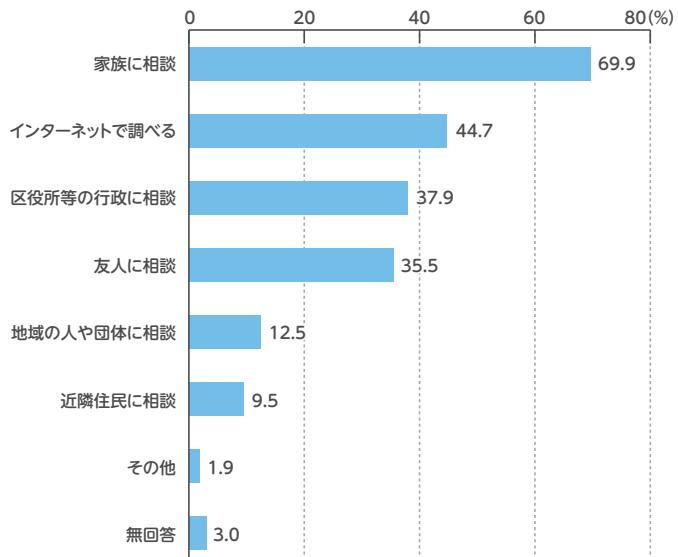


### 必要な情報や支援が届く仕組みづくり

生活に関わる困りごとの解決方法 (n=1,284)

**Q あなたは生活に関わる  
困りごとがあった場合  
どのように解決しますか?**  
(令和5年度瀬谷区区民意識調査)

「家族に相談」が 69.9%で最も多く、  
7割の人が挙げている。  
次いで「インターネットで調べる」が 44.7%である。  
以下「区役所等の行政に相談」(37.9%)、  
「友人に相談」(35.5%) などと続く。



## 第5期瀬谷区地域福祉保健計画策定懇談会委員 名簿

団体名	氏名(敬称略)
学識経験者	名和田 是彦
瀬谷区医師会	武岡 裕文
瀬谷区歯科医師会	綱島 裕之
瀬谷区薬剤師会	久保田 充明
瀬谷区連合町内会自治会連絡協議会	高岩 敏和
瀬谷区連合町内会自治会連絡協議会	(令和6年度) 上田 三郎 (令和7年度) 北井 義
瀬谷区社会福祉協議会地区社会福祉協議会分科会	綱代 宗四郎
瀬谷区社会福祉協議会障害福祉分科会	(令和6年度) 津田 秀幸 (令和7年度) 小川 朋世
瀬谷区社会福祉協議会社会福祉施設分科会	平本 千恵子
瀬谷区民生委員児童委員協議会	紅林 千津子
瀬谷区主任児童委員連絡会	久保薦 祐子
瀬谷区青少年指導員連絡協議会	菊地 勝也
瀬谷区スポーツ推進委員連絡協議会	(令和6年度) 飯沼 宏氏 (令和7年度) 渡邊 武
瀬谷区保健活動推進員会	小長井 博
瀬谷区食生活等改善推進員会	松井 寿美
瀬谷区障害当事者・支援団体	八木澤 恵奈
瀬谷区子育て支援団体	高橋 洋子
瀬谷区シニアクラブ連合会	(令和6年度) 松清 武夫 (令和7年度) 中嶋 幸江
瀬谷区こどもの遊び場支援団体	森谷 薫
横浜瀬谷ロータリークラブ	相澤 史人
瀬谷区外国人支援団体	金子 真澄
瀬谷区中学校長会	(令和6年度) 村上 直幸 (令和7年度) 三船 訓照
瀬谷区小学校長会	(令和6年度) 飯田 雅人 (令和7年度) 宮路 ますみ
瀬谷福祉保健センター長	木村 洋
瀬谷福祉保健センター担当部長	長井 真



発行

横浜市瀬谷区役所福祉保健課

横浜市瀬谷区ニッ橋町190番地 TEL:045-367-5743 FAX:045-365-5718

横浜市瀬谷区社会福祉協議会

横浜市瀬谷区ニッ橋町469 せやまる・ふれあい館2階 TEL:045-361-2117

ニッ橋地域ケアプラザ 濑谷区ニッ橋町83-4

阿久和地域ケアプラザ 濑谷区阿久和南2-9-2

中屋敷地域ケアプラザ 濑谷区中屋敷2-18-6

下瀬谷地域ケアプラザ 濑谷区下瀬谷2-44-6

ニッ橋第二地域ケアプラザ 濑谷区ニッ橋町469 せやまる・ふれあい館1階